

三菱ウェルファーマの武居瑞穂さんは入社5年目のMRで、担当を任されて3年半のキャリアを持つ。プロトンポンプ阻害薬「オメプラゾール」やコレステロール吸収抑制薬「コレパイン」など、同社の慢性期薬剤の医薬品情報を、兵庫県・西宮エリアにある約300件の開業医に伝えるのが主な仕事だ。神戸薬科大学卒の薬剤師MRとして、現在4期(1期は6カ月)連続で計画を達成しており、いわゆる「できるMR」として社内外から注目を集めている。

今の職業を選んだ理由について「MRになるための就職活動は、薬科大学3年の秋頃から始まります。私も友人が会社訪問をするのを見て、一緒に就職活動したのがきっかけです」という。「絶対MRになりたい」という強い意思を持っていたわけでもなかった。

そんな武居さんだが、入社以来、MRの仕事の面白さに自然と引き込まれていった。MRの仕事は、「ドクターや会社仲間、同じエリアの他社MRと交流が深まるにつれて人間関係の幅が広がり、様々な情報を得られるのが大きな魅力です」と目を輝かす。また、担当する医師から「あなたの情報提供が治療に大変役立った」と感謝されたときは、「この仕事をやっていて本当に良かった」とやりが

横浜市内で2件の調剤薬局を持つ「慶星」の社長・前田成隆氏。星薬科大学を卒業したのは1973(昭和48)年というから、もはや熟年期真っ盛りという年齢だが、薬剤師の仕事にかける情熱は、若い人たちに負けていない。この前田氏に、これから薬剤師を目指すという学生たちへのアドバイスを聞いたところ、「薬好きになれ」「常識を持って」という答えが返ってきた。

前田氏が開口一番言ったのが、「薬好きになってほしい」だった。“薬が効くのは分かっているが、自分ではのみたくない”では、どうして患者に薬を勧められるのかと熱っぽく語る。

日産のカルロス・ゴーン社長は就任したばかりの頃、箱根まで自社の車を走らせ、「車は素晴らしいのに、日産には車好きがない」と感想を話したという。車好きが車をつくって販売していないことが、日産の欠点だという指摘である。前田氏に言わせれば「薬剤師も同じ」

例えば非常に酸っぱい薬は、薄めた方が服用しやすいのか、あるいは酸っぱいまま一気



三菱ウェルファーマMR  
武居瑞穂さん

いを感じるという。

新人時代の研修で薬学部卒が有利な点は、「やはり薬の基本知識を学んでいること」と言い切る。MRの研修は自社の製品知識がメインで、即戦力に結びつくような知識を習得しなければならない。従って、大学の授業形態とはやや異なるものの、「他学部卒の人よりも有利な点は変わりません」と後輩の薬学生に訴える。

通常、入社した年の12月に受ける「MR試験」も、6教科の試験科目が設定されているが、薬学部卒業生だけは、そのうち3教科が

情報提供の仕事に充実感

免除されるという特典もある。その反面、この試験に落ちるのも薬学部卒の人が多く、「油断大敵ですね。手抜き勉強には注意しましょう」と警鐘を鳴らすことも忘れない。

武居さんによると、MRをしているの悩みは「年々異なる」ようだ。1年目は、4月から10月まで研修を受けた後に各支店に配属され、先輩について現場を回るが「自分の知識のなさを痛感」した。医師との人間関係構築に苦慮するのもこの時期だ。3~5年目になると「相手のニーズに応えたいと思うが、なかなかできない」ジレンマにさいなまれる。

「営業職という袴を着るのではなく、普段の自分がドクターに必要な情報を提供する感覚で捉えていただければ、うまくやっていると自覚する」とアドバイスする。最近、各社とも女性MRが増加しており、女性の職業として全く違和感を感じないという。

最後に、「情報提供の方法もたくさんありますから、自分なりにアレンジすれば十分活躍できます。希望があれば、まず飛び込んでください」と笑顔で話してくれた。

先輩からの  
アドバイス

ないはず。すぐ出せる薬なら、必ずしも順番にこだわらずに手渡せば良い。これも常識である。

その代わりに一包化する場合や、散剤や水剤など計量・混合が必要な場合などは、調剤時間が余計にかかるので、処方せんを受け取った時点で、予めそのことを患者に伝え、了承を得ておくことが大事になる。それをせずに、簡単な薬だからといって順番を変えて渡したら、患者は怒り出す。これもサービスに携わる人の常識であり、そういう基準で判断してほしいと語る。

サービス業では、sincerity、servant、speedという3つの要素が基本とされるが、前田氏はこれにscienceを加えた「4S」が薬局の場合には大事だという。いくら手厚いサービスを行っても、薬を間違えれば全てが無に帰する。その意味で「薬剤師の仕事に60点や80点はない。あるのは100点か0点だ」と強調した。

何より「薬を好きになれ」



慶星代表取締役社長  
前田成隆氏

に喉の奥まで流し込み、直後に水を飲んだ方がいいのか、自分で経験し工夫してみる気持ちが大切だという。「自分で試せば、患者への説明にもリアリティーが出て、説得力も大きくなる」と話す。

もう1つは「困ったときは常識で判断する」ということ。例えば、いつも同じ薬を受け取りに来る患者がいる。そうした患者を、いつまでも待たせる必要は

pha-net  
薬学生とメディカル業界のかけ橋 ファーネット

きっとミツカル!  
薬学生  
のための  
就職ナビ

pha-net は薬学生のみなさんの就職活動をサポートするために誕生したWEBサイトです。病院・薬局へのエントリーを始め全国10万件の医療機関の中からあなたがキョウミを持った企業に対して採用情報のリサーチを行うリクエストシステムなどを活用していただけます。

http://www.pha-net.jp

株式会社 ユニフ ファーネット担当 TEL : 06-6361-3601 E-mail : pha-net@univ.co.jp

●大学生新卒採用支援 http://www.univ.co.jp  
●人材紹介(許可番号 27-U-020104) 薬剤師に特化した転職サイト http://pha.univ-med.jp 医療系人材向け転職サイト http://www.univ-med.jp  
●人材派遣業(許可番号 27-020342) ●広告制作 ●イベントプロデュース

本社 / 〒530-0047 大阪市北区西天満3-4-15 公冠ビル2F TEL.06-6361-3601(代) FAX.06-6361-8710  
東京支社 / 〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-2 アマンド赤坂ビル7F TEL.03-5549-2420(代) FAX.06-5549-2421  
九州支社 / 〒810-0001 福岡市中央区天神4-6-7 天神クリスタルビル14F TEL.092-721-1027(代) FAX.092-721-1026

